



茨城県石岡市東成井1617の5  
電話 〇二九九一五六一六二三七

第13号(春号)  
令和6年2月28日  
発行 波切不動寺

<https://www.namikirifudoji.jp>



LINE@

「友たち追加」をすると、LINEでお寺からの通知を受信できます

## 令和6年より 祥泉阿闍梨が護摩導師をつとめます



「護摩修行」は密教の修行法のひとつで、日頃知らず知らずにつとっている災いの種(罪、とが、穢れ、執着、欲)を焼き尽くします。

御本尊の前に設けた護摩壇に、さまざまな供物を捧げ、護摩木という特別な薪を焚いて祈ります。導師は護摩壇の正面に座り修法を執り、火の中にお不動さまをお招きします。

新春初護摩から祥泉阿闍梨が導師となり、月3回の定例護摩を3段護摩で修してまいります。

### 令和5年 御礼護摩修行

お不動さまに1年のご加護、ご守護に感謝する御礼護摩を厳修する御礼護摩は、ご本尊さまの加持力を増大させるための法要でもあります。

毎朝の勤行にて、当寺の山主と住職は信者の皆さんの健康、商売繁盛、闕



▲令和5年12月10日御礼護摩修行のようす。祥泉阿闍梨の後ろには九州・鹿兒島の報恩寺の法主が座していました。

病平癒、良縁成就、五穀豊穰、就職成就、試験合格成就などを祈念しております。大難が小難、小難が無難に過ごせるようにとの願いを欠かしたことはございません。

波切不動寺は、遡って平成21年から年末に八千枚護摩を成満してまいりました。令和2(2020)年の祥泉阿闍梨による八千枚護摩を最後に、大護摩の「御礼護摩」に代えて修し、令和5年で3回目を迎えました。1年間私たちをご加護くださったお不動さまに御礼を申し上げるとともに、一層の強いお力をつけていただくために、今回も護摩木の奉納を皆さまにお願いし、令和5年12月10日に五段護摩をお納めいたしました。

### 令和5年度 波切不動明王 御礼護摩修行

この度の大護摩は「御礼」と「加持力増」の他に、寺の敷地の供養も目的としていました。お寺に長く通っている信者の皆さんは覚えていらっしゃるかもしれませんが、



現在の寺が建つ東成井は、いわくつきの土地でした。幕末の天狗騒動のときにさまざまな理由で命を落とした多くの人たちが葬られています。そのような場所に寺を建てるのも何か意味のあることと住職は考えて、平成27(2015)年寺の地鎮祭後に「無縁仏」と「未成仏霊」の供養のため、白い丸い石に般若心経を一文字ずつ書いて塚の下に埋める「一石経」の法要を行いました。

それから8年経ってもまだ「供養」が足りない、九州の報恩寺・丸塚照範法主からご指摘をいただき、令和5年の大護摩の時に土地神さまの供養、無縁さまの供養、稲荷の供養、弁財天の供養、そして住職が新しく購入した本堂の東側の土地の供養をすることになりました。



▲令和5年の大護摩の日に鹿児島県の報恩寺・丸塚照範法主、修蓮阿闍梨、福岡の大師寺・丸塚法泉住職をお迎えして供養会を行った

令和5年の御礼護摩の後に、住職は丸塚照範法主からこう言われました。

「八千枚の護摩木を一気に焚き上げるだけの力を持つ後継者がいるのだから、住職は今年を限りに引退なさい。祥泉阿闍梨と交代しなさい。次に何をすべきなのか、本当は心の中では決まっているのでしょう。それをやりなさい」と。

今年から、聖翠住職は法主（ほつす）となつて、お大師さまの密教の基本を皆さんに教えていきます。それは、この世で生きて仏になる「即身成仏」の体現です。

密教は秘密の教えと捉えられる一方で、非常に難解かつ抽象的な教えのため授けるにふさわしい人に口伝と実践をもって伝えられています。弘法大師空海の唱えた即身成仏は、この世で生きて仏になることであり、お釈迦さまの説いた仏教とは異なります。

波切不動寺の目指す「極楽浄土」を具体的に述べると、左記のようになります。

◎ **会社経営者は仕事に恵まれる**

利益が増大する、従業員の確保ができる、安定した経営ができる。

◎ **健康を手に入れる**

体調の悪い人なら、毎日健康に過ごせる、安心して生活が送れる。

◎ **結婚成就を叶える**

未婚の人なら、理想の伴侶に出会って結婚、子どもに恵まれ幸せな家庭が築ける。

◎ **福德円満**

お金の欲しい人なら、金銭に恵まれて裕福な生活が送れる。

◎ **就職成就**

仕事をみつきたい人なら、自分にあった一生続けられる仕事に就くことができる。

夢みたいな話ですが、実際に聖翠阿闍梨自身が願いをかなえています。この寺の成り立ちについてはすでに皆さんもご存知のことでしょう。幼稚園の教諭をしながら仏教の道を志し、自宅でお不動さまを拝みながら修行。やがて寺院の僧侶となり、同時に農業（土の修行）でも成功しています。心から望む仕事に就いて成功しています。

「思い描いていた願いが実現した」

「波切不動寺に行つて良かった」

そう、皆さんから言われることが、法主となつた聖翠阿闍梨の目標です。

▲お大師さまは「この身のままで速やかに仏になる」という「即身成仏」の考え方を説きました。この世は極楽浄土であり、自らが仏となる方法を聖翠阿闍梨が授けてくださいます。



一切皆苦(いつさいかいく)

生は苦である、病は苦である、老は苦である。

若い時分には想像もできない体の衰えが、日常生活に苦勞を強いるようになります。

そこで落ち込んでいるのではなく、日々、何とか生きていくための努力をしていかなければと考えています。ノートとペンがあつたら、そこに楽しいことを書き込みます。

これは「引き寄せの法則」といわれ、実践するためのハウツーがさまざまメディアで紹介されていますが、心の状態にでも本来備わっている愛や慈悲といったポジティブな感情を高めていくことで、不満、怒り、執着といったネガティブな感情は克服できます。

苦は生きていれば免れません。心の持ちようで、良きように変えられます。

徳を積むとは

お寺にお参りにいらつしゃつて、すぐに願いが成就する人がいる一方、何年かかっても叶えられない人を多く見ました。

お不動さまに手をあわせているのに、なかなか道が開けないでいる人は、そこで不満を持つてしまったら台無しです。

住職の師匠である醍醐寺の中西哲玄先生が教えてくれた言葉を紹介しましょう。

「うまくいかないときは、徳積みをしていないから。徳を積んでいないと自



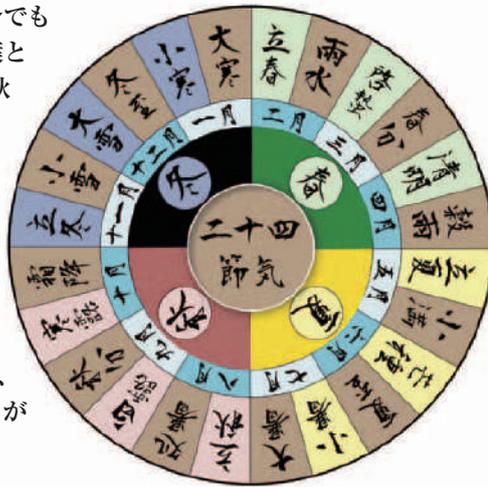
## 節分祭 お星さまの供養

令和6年は1月18日に冬土用入りしました。土用とは季節を分ける最初の日のことです。

皆さんは夏にウナギを食べる「土用の丑の日」を思い浮かべることでしょう。

「土用」は、年に四回巡ってきます。

二十四節気では各土用の最初の日を土用入りといい、土用の最後の日の土用明けが節分になります。節分を境にして運勢が変わり、新しい1年がスタートします。



二十四節気(にじゅうしせつき)は、今でも立春、春分、夏至など、季節を表す言葉として用いられています。1年を春夏秋冬の4つの季節に分け、さらにそれぞれを6つに分けたもので、「節(せつ)または節気(せつき)」と「気(中(ちゅう)または中気(ちゅうき)とも呼ばれる)」が交互にあります。太陰太陽暦(旧暦)の閏月を設ける基準となっており、中気のない月を閏月としていました。二十四節気は、その年によって1日程度前後することがあります。

なぜ節分に星を拜むのでしょうか？

真言密教では、すべてのものは大日如来が姿を変えたもの、と考えます。お不動さまも。観音さまも。山も川も草も木も。そして星もすべてありとあらゆるものが大日如来なのです。

お大師さまは唐の惠果阿闍梨から仏教のあらゆることを学んできました。その中の經典にはお星さまのこと、宇宙の真理を書き記したのも多くあり、それらを日本に持ち帰ってくださいました。星供養はお大師さまの頃から千年以上続く伝統行事です。

### 星供養曼荼羅

星供養は北斗七星をはじめとするさまざまな星を供養する法要です。写真は節分祭のときにお祀りする星供養曼荼羅です。中央の仏さま「一字金輪仏頂尊」の下に



▲福岡県糸島の大師寺から丸塚頭慎阿闍梨をお招きし、星を供養する法要を修めていただきました



北斗七星が描かれています。太陽、月、火星、水星、木星、金星、土星を神格化した羅喉星(らこうしよう)、彗星を神格化した計都星(けいとせい)、目を凝らすと12星座の絵も描かれています。

よく「私はこの星の下に生まれた」などといえます。生を受けた時を細かく見ると、十二支(子丑寅など)・九曜(月火水など)・二十八宿(參井鬼など)・十二宮(十二カ月)・それに刻(時間)と、大まかに見てもこれだけの星の作用を受けて誰しもが生まれてきます。

この世に生まれた時に授かった一生変わらぬ守り星の「本命星(ほんみやうじょう)」、「元辰星(がんじんじょう)」、「本命宿(27種類の宿から割り出された自分自身の部屋)と毎年移り変わる星(当年星)、それらを司る金輪仏頂や当年星を司る北斗七星を供養すれば、厄年や星回りの悪い年であっても災難を免れ、良い年はより一層良くなるとされています。一年間の幸福を祈り、災いを除く伝統儀式です。

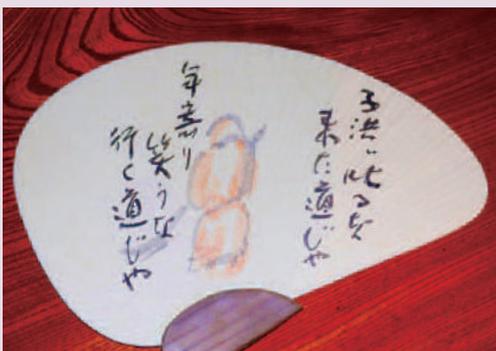
分の周りに不徳な人が集まってきて、思い通りに物事が進まない。自分の不徳を悲しみなさい。

物事がうまく進んで、人間関係にも恵まれている人はお徳を積んでいるからです。お徳があれば、良き人が集まってくるんだよ」

不愉快な気分にはさせる人。ああだこうだと、他人をいじる人。そういう人に出会ってしまうのも「自分に徳がないからだ」と思えば、反省する良い機会がめぐってきたというものです。

嫌なことがあったときにも「私は徳を積んでいないからだ」と言い聞かせると、腹が立たなくなりますよ。

成就しない人は、ご自身を振り返ってみてください。お不動さまを信じ、自分の行いを振り返って少しずつ「徳」を積んでいきましょう。そしてお不動さまに手をあわせ、良きように、良きように考えることです。



▲うちわの絵詞は上醍醐寺の中西哲玄僧正によるもの。波切不動寺には哲玄僧正による直筆の色紙、掛軸がいくつも飾ってある

# これまでの嫌なものを「捨てる」ことで、福を授かる 禍を捨てて、福を拾う 福まき

年に1度の大盤振る舞い、波切不動寺の「福まき」は年々規模が拡大。節分の日を楽しみに、多くの方がお参りにいらっしやいます。

「福まき」では、お餅や福豆だけでなく、お菓子、カップラーメン、そしてお金の入った「ポチ袋」がまかれます。令和6年の2月3日まで背負ってきた嫌なものを「捨てる」ことで、福を招き入れます。

法螺貝の吹螺師である鑑廣先生も京都の醍醐寺から駆けつけてくださいました。法螺貝とともに豆まきを開始。トラックの荷台を壇



▲当日は晴天に恵まれたことも幸いし、福まき用の特設会場には500人近い信者さんが集まりました

上に仕立てた場所に寺の行者や信者さん、そして今年厄年の方にならなくてもいい「禍の代物」を、ま

まくものは「因縁」のついた代物です。地面につく前に受け取ると因縁は捨てられずに、受け取った人が受け継ぐことになってしまいます。いったん地面についてから拾うようにしましょう。

## キッズエリアも大盛り上がり

子どもが大人に交じって拾うのは危険、事故が起きたら一大事。ということで3年前から小学生以



◀大人も子どもも「福まき」で獲得した物はビニール袋に入れてお持ち帰りします。「当たりくじ」の付いたお餅を拾うと引換所で特別な品と交換ができました

下に限定した豆まきエリアを開設しました。これで安全に「福拾い」ができるかと安心しましたが、別の問題が起きます。子ども限定にもかかわらず、子どもに紛れて保護者をはじめ大人も拾いに来ってしまうということに。  
毎年、楽しい節分祭を続けていくためにも「福まき」に参加する人は、事前にお伝えした注意事項をよくよく守って、福拾いをしてください。

## 令和6年の初午のご報告

今年の初午祭は14時からはじめ、皆さまの家内安全、五穀豊穰、厄払いなどを祈願しました。コロナ禍で見あわせていた「大般若経転読会」法要を3年ぶりに行い、信者の皆さまと一緒に、稲荷大明神さまを拝みました。

大般若経全60巻を扇を広げるよう

にして経本を空中にかざしながら読誦します。この転読の際におこる風(梵風ほんふう)にあたると、無病息災や諸願成就にご利益があるといわれております。法要の後、皆さまに持ち寄っていただいたお供えを神さまと共にごいただく「直会(なおらい)」を行いました。



▲波切不動寺のお稲荷さんは宇迦之御魂神(うかのみたまのかみ)さまです。ご本尊さまの眷属として大黒天さんや弁財天さんとともに付き添っていらっしやいます



## 不思議な話 体験事例

先祖さんを尊ぶと、必ず自分によい縁がめぐってきます。

先日も、ある方が「二座式供養を修してご利益をいただいた」とお寺に報告にいらつしました。

その方は、高級品を取り扱う販売店を経営していますが、取引先が不渡りを出したり、仲介業者にだまされたりといった不運が続いていました。

ところが二座式供養をしたところ「よいご縁」がめぐって来るようになり、スムーズな商談、円満な取引が続いているとのこと。

以来、不動縁日には必ず「御宝前」を届けてくださいます。



### ◎お不動さまの示す「その時」

信者さんの体験

あるご夫婦は、中学生の孫を地元の進学校に行かせたくて、お不動さまに「一願祈願」をお祈りしてきました。その高校を出れば、志望の大学を目指せるからです。

ところが願いは叶いませんでした。

お不動さまは「その時」には願いを聞き入れてくれませんでした。結果

的にお孫さんは「学校推薦」で志望の大学に進むことができたのです。

「押してダメなら引いてみる」というように、違うやり方を試してみたら解決することもあるのです。すぐに結果が出なくても、「その時」が来るまでお不動さまを信じて待ちます。

お不動さまは、その方にあった「いい道」を示してくれます。

私たちは「あつちがいい」「こつちがいい」をその時の状況に流されて瞬間的に判断して見誤ることが少なくありません。どちらが正解だったかは過ぎてみないとわかりません。

### ◎「農神さま」を再興するまで

どうして農神さまと波切不動寺にはご縁があったのでしょうか？

ことの始まりは6年前にさかのぼります。後に大久保農園となる場所は、ある方からの熱心な勧めがあつて、将来墓地にしてもよいか、かなりの軽い気持ちで購入を決めました。ところがそこは因縁のある土地でした。

9000坪もの広大な敷地の目立つ場所に、立派な入母屋（いりもや）造りの古民家が建ち、浮かばれない霊が15体も棲んでいました。古民家の床下には、忘れ去られた【水神さま】が埋められ、土地に侵入した者に障りを起こす状態でした。

亡霊を成仏させ、水神さまを助け、肥沃な土地にするために住職は一大決



農神さまのご神体は左から【荒神さま (土)】【水神さま (水)】【稲荷さま (火、種)】。三位一体の神さまです

心をして、入母屋造りの古民家を解体。取り壊した後には土を深くふかく掘り下げて整地しました。

土地の神さまの再興を発心してから4カ月が経ち、ようやくお社ができたのです。

農神さまをお祀りするまでに、何度となく土地の供養をしてきました。土地の神さまと向きあい、開眼供養にいたるまでには多大な労力と費用がかかりました。波切不動寺でなければできないことでした。

農神さまのお社は、大久保農園の門をまっすぐ進んだ後、左手に折れたところにございます。

皆さまもお近くにお参りの際には、ぜひ農神さまをお参りくださいませ。

### ◎大久保農園に起こった奇跡

大久保農園の体験

昨年の10月、大久保農園にはイチゴの苗がありませんでした。半年以上かけて育ててきた10万8000本の苗が病気で全滅したからです。外国からきた従業員たちは、不安な顔で毎日聞いてきます。

「イチゴの苗がない、お母さんどうする。」

それに対し、住職は

「大丈夫、苗はどこからくる」と言い続けてきました。その言葉通り、やがて大久保農園には7軒の農家さんから5万本のイチゴの苗が届きました。5万本の苗からランナーを取り10万本にして、12月にはハウス全棟に苗を植えることができたのです。そして12月17日には真っ赤に実ったイチゴの出荷が始まりました。

ゼロだった苗は2カ月経たずにハウスを埋め尽くすほどに増えて、見事なイチゴを実らせたのです。まさに奇跡が起こったのです。





大久保農園のイチゴは、一昨年から豊洲市場を通じて全国に流通しています。ブランドイチゴとして仲卸の目利きの間にもっと大久保農園のイチゴを味わってもらいたい、という住職の望みもあり、昨年末から笠間の「道の駅」でも購入できるようになり、すでに「大久保農園のイチゴ」を指名買いくるリピーターもついています。もちろん大久保農園に直接足を運んで購入もできます。そしてまもなく毎年好評のイチゴ狩りも始まります。

### 「自分を顧みる」のお話をしましょう

あるお寺のご住職と話をする機会がありました。

その方は大学で仏教を学んだ後に滅罪寺を継いで、今もたくさんのお勉強をしていらっしやいます。

滅罪寺とは、檀家さんを抱えてお葬式するお寺で、多くの場合はお寺に生まれた子どもが跡を継ぎます。ちなみに波切不動寺は皆さんのお願いを引き受けて拜む祈禱寺です。

そのご住職は「人生は六道輪廻の修行ではないか」と、問いかけてきました。六道輪廻は、地獄道、餓鬼道、畜生道、修羅道、人間道、天上道。

ある時は「地獄道」に落ち、またある時は「修羅道」に落ち、という繰り返し。人生のうち何年かを修羅道で過ごし、不満と怒りで抜け出せないまま今度は餓鬼道に落ち、一生を終える人もいるかもしれません。

金銭的な余裕がなくて食べられないことを餓鬼道にイメージしがちですが、病気で食べられないことも飢えによる苦しみです。

「なんで自分は、  
こんなに不幸なんだろう」

「なんで自分は、  
こんな家庭に生まれたんだろう」

苦しみを甘んじて受け入れた先に、何が見えてくるのか。

時が経って振り返ると、あの時は

### 「二座式供養」のおかげで運がよくなってきた、悪縁を断つことができた、というお声をたくさんいただいております。

二座式供養を希望する方に、申し上げたいことがあります。

二座式供養は、2時間〜3時間かけて行う真言密教の秘法です。

お寺では二座式供養の前に、お不動さまのお護摩の火にあたることをすすめています。というのもお不動さまに施主の邪気を抜いてもらった後に二座式供養で因縁を祓うことで、効果が倍増するからです。

### 二座式供養はなぜ、そんなに効果があるのでしょうか

一座目では、供養する人の名前をよんで、飲み物と供物を召し上がっていただきます。

あちらの世界からいらした方々は、のどが渴いていらっしやる。そこで、お水をたくさん用意します。一座目で渴きを癒し、お腹を満たしていただいた後、二座目をはじめます。その時に「施主の願いを聞いてください」と、お経を唱えながらお願いいたします。

二座式供養は、御嶽山の開山に尽力された普寛行者さまが、あちらの世界から授かった修法です。

普寛行者さまは、天台と真言の両宗の奥儀をきわめた大阿闍梨さまです。

二座式供養を2度、3度と繰り返すと先祖さんが力をつけて、守護してくださいます。最低でも3回、繰り返してください。

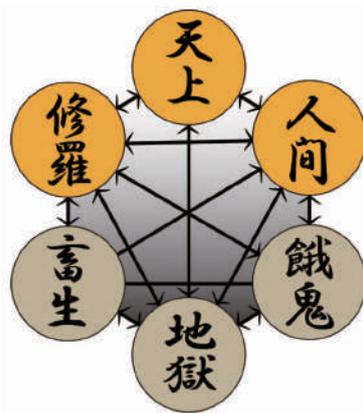
二座式供養は「滅罪二座式精霊供養法」といいます。合同二座式供養は月例の護摩の前後に行っています。個別の二座式供養についてはお寺にお問い合わせください。



お不動さまとご縁を結びたいのであれば、積極的に善い行いをしてお不動さまに見つけてもらいましょう



「修羅道」だったな、「地獄道」だったなとわかってくる。そして改めて「八正道」を学ばなければ、と気づきます。滅罪寺の住職と、そんな話をしました。



不満の原因をたどると、これこそ因縁。漢字で口の中に大と書く「因」の字は、種です。病気の「種」、誰かをイジメた「種」、悪口の「種」。

因縁の「縁」は「環境」です。環境によつて芽が出て広がるか、それとも種のまま腐つてなくなるか。

不幸の種であれば、その芽が出ないように環境を変えます。もし芽が出て、育たないうちに刈り取ります。

種が不幸の因縁であるかどうかを見極めるには、自分の置かれている立場を顧みるとわかります。環境が人を育む、とはよく言ったものです。類は友を呼ぶもそうですが、不平不満を言っている人には、同じような人が引き寄せられます。自分が何者かを知ると、他人や周囲に配慮していく思いやりが生まれます。

両親や祖父母、先祖さんだけでなく、先祖さんを助けてくれた人がいたから、今の自分が存在します。

素直な気持ちで「ありがとう」と感謝

すると、怒りの感情や不満、不安な心がコントロールできるようになります。

**本堂・護摩堂・庫裡の  
建立にかける思い**

聖翠 御仏さま・神さまにお仕えして30年、思い返せば笠間市岩間の自宅の6畳間で線香護摩を焚いたのが始まりで、後に物置の2階の15坪に護摩堂を作り、宗教活動を始めました。

平成17年の護摩の日にはお堂に入りにきれない状態になりました。その後、聖翠が階段から落ちるといふ事故もありました。信者さんの車を止めるための場所がない、護摩の日は周辺の道路が渋滞して近隣の方に迷惑をかけていることなどを考慮し、平成19年に自宅の裏山を開墾して本堂兼護摩堂を建立しました。

それから信者さんは増え続け、収容しきれなくなつて移動することに。希望は自宅に近く、広く、信者さんに説明したときにわかりやすい土地を条件にあげ、常磐線羽鳥駅に近く、常磐高速道路岩間インター、北関東高速道路友部インターの周辺を探しました。

見つけたのが現在の東成井の約3000坪の山林で、当時7000万円。開墾して拝み堂を建立しましたが、土地を購入したことで、お堂建立の資金が枯渇してしまいました。



▲東成井の新しく購入した土地で2011年に地鎮祭を行いました。お寺が建つ前は、スギ、クヌギ、ナラの茂る山林でした

そうして一生懸命御仏さま・神々さまを拝み、時がくるのを待つこと8年、信者さんの増加に後押しされて平成27年の秋、何とか現地に拝み堂、下屋を増築、信徒会館を建立して現在の土地でまた【仮のお堂】での出発となったのです。

立派なお不動さま、御仏さま・神々さまを大久保の屋敷から、どなたでも気軽にお参りできるこの地にお迎えできたことがなにより嬉しく、胸がいっぱいになりました。

「お不動さま、一生懸命頑張つて必ず立派な本堂・護摩堂・庫裡を建立しま



▲2015 (平成27) 年に本堂兼護摩堂・信徒会館が完成し、9月に遷座式を行った

す」そう、お約束をしたのに……。加えて、いつか護摩から出火するのではという不安がつきまとい、護摩堂の建立実現に向けて行動を起こします。その計画途中にお不動さまが降臨されました。

【建物は一つでよい、本堂と護摩堂を分けるな】とのご啓示をいただき、進行中の計画が破棄となったのです。

**本尊さまは何もかも  
お見通しなのです**

私の中で【本堂は無理とあきらめていた】のが本音でした。お不動さまに心を見透かされた思いです。本尊さまに深く謝罪し、改めて本堂建立・護摩堂建立をお願いしました。すると建立に向けていろいろな知恵をくださる信者さんらが動き始めたのです。開発行為に絶対必要な東側の土地の購入が実現しました。開発行為の許可ができれば建設に着工できる運びとなりました。



「建設資金も無いのに」と心配してくださる方もいらつしやいます。ですが、『本当に御仏さま・神々さまが欲っしているのであれば、必要な資金は用意してください』からと私は平気な顔をして、日々頑張っています。ここまできた経緯がそうでしたから……。

30年近くいろいろありましたが、石岡市東成井の地に落ち着きました。今まさに本堂・護摩堂・庫裡を建立するお許しを、仏さま・神々さまからいただいたと思っております。

波切不動寺に集う方々は寺を建立する機会巡り合える幸運に出会えたのです。なんと素晴らしいことでしょうか。まさに皆さんは選ばれた方々なのだ

なあと、つくづく思います。

波切不動寺は祈禱寺です。檀家寺とは違い、収入的にとっても厳しい経営をしいられています。



願いが叶ったからもう来ない、叶わないから来なくなる。私はいつも【来る者は拒まず、去る者は追わず】御縁のない方は離れていきます、と話しています。したがって信者さんに忖度をしなくてすみません。当寺を気に入った方がお参りくださる。今この機会にお参りにいらつしやる皆さんは、御仏さまと縁が深くとても霊格が高い、そして神仏に好まれていらっしゃる方々なのでしょう。なぜなら皆さんはお不動さまのお客さまなのですからね。

### 「おいしい」だけじゃない健康になれる野菜作り

寺の役員さん方が建設資金のことについて心配くださっています。総工費は数億になります。しかし波切不動寺は祈禱寺ですので、ご信者の皆さんにご寄進を募ることはいたしません。

現在のところ、建設資金は寺の預貯金・資産の売却《大久保農園土地》と一般有志の方のご奉納を考えております。資産売却ですが、波切不動寺から大久保農園に売買で譲渡をするにあたり、農園の経営が順調でなければ銀行も融資をしてくれません。農園は赤字でも黒字で

もなく経営していますが、農地売却を考えると、この先は何とか黒字経営にしなければなりません。そこで、ただひとつだけ、皆さんにお願いがあります。

大久保農園の有機農法で作られた【いちご・栗・ブルーベリー・野菜等】

を購入し、食べて宣伝していただませんか。農園の土地と農業資材を大久保農園に売却して、お堂建立資金にしたいのです。美味しい有機野菜を購入して食べて、お友達にも宣伝してください。こういった皆さんの行為がお堂の建立の手助けとなります。豊洲市場でなく身近な人に大久保農園の野菜の美味しさを伝えてください。信者さんを健康にして、農園の利益をあげること、お寺も農園も良きように回っていくことを目指しています。2年後には次男が農園の経営を引き継いでくれることになっていきます。

### 行者さん大募集

波切不動寺では、行者さんを募集しています。行者とは普通の仕事をしながら、御仏(みほとけ)にお仕(つか)えする人です。得度をして御仏の弟子になり、自宅で戒律を守り読経をしたり、寺に来て寺の手伝いをしたりします。

退職後、私は何をしようかと考えている信者さん、行者の皆さんと一緒に仏道を学んでみませんか。自分を探す旅に出てみませんか。意外に楽しい世界です。

※詳しくは社務所の受付または行者にお問い合わせくださいませ

### 波切不動寺の行事予定

※行事の日時は、寺の掲示板または寺のホームページでご確認ください。

#### ◆月例行事◆

- 第二日曜日 10時半～日曜護摩、稲成供養会
- 17日 18時～十一面観音縁日護摩・弁財天供養
- 28日 18時～不動明王縁日護摩
- \*28日 不動護摩の後、荒神供養

#### 二座式供養

第2日曜日は護摩の後の14時～、17日と28日は護摩の前の15時～【合同二座式供養】を修しています。お申し込みは、当日の12時まで受け付けています。申込者が参座できない場合もご供養いたします。

#### ◆定例行事◆

- 1月1日～3日 新年初護摩
- 2月3日 星供養
- 2月の午の日 初午祭
- 3月春分の日 春の彼岸供養会
- 8月1日～3日 早朝6時～キュウリ加持祈禱会
- 8月13日 18時～盂蘭盆会(迎え火)先祖供養会
- 8月16日 18時～盂蘭盆会(送り火)先祖供養
- 9月秋分の日 秋彼岸みちびき地蔵・先祖供養会
- 12月8日 【大護摩供養会(御礼護摩)】

悲願であった本堂・護摩堂・庫裡が建立されたら、御仏さま・神々さまの聖地ができるのです。夢のようでワクワクして毎朝の勤行に、畑仕事に【土の修行】に精進していきます。ここまですが住職・聖翠の役目で寺の集大成の思っております。よろしくお願ひします。 合掌